

地区別意見交換会の結果

1. 地区別意見交換会の結果について

(1) 実施のねらい

7年間、地区別意見交換を実施していない窪川地域にて、特に今後再編が必要と考えられる路線沿線地区を対象として、バスを利用していない人も含めて、移動手段確保の現状と、これからの公共交通網への期待などを聞く場として意見交換を実施した。

(2) 実施した地区

実施日	実施地区	参加者数	備考
8月21日	志和地区	3人	
8月21日	志和峰地区	10人	
8月22日	窪川中心部	1人	
8月23日	興津地区	7人	
8月23日	金上野地区	9人	
8月24日	仁井田地区	4人	
8月24日	影野地区	7人	
8月25日	家地川地区	6人	

2. とりまとめ

次頁より、成果をとりまとめる。

志和地区（男性：2人、女性：1人）

○ 地区の現状について

- ・志和の住民は志和地区であるというだけで様々な不利益（バス運賃が高い、便数が少ない、仕事がない…）を被っていると感じている。
- ・矢井賀を経由して中土佐町に行くと、65歳以上の公共交通利用が無料になる。また、高知方面に行くにも矢井賀を経由した方が早い。高知高陵交通の路線バスがここまで来てくれたらいいと思う人は多い。
- ・土曜日（11:00～12:30）にとくし丸が来てくれているが、品物が少なすぎる。

○ 公共交通の現状について

- ・車を使っていた人からすると、朝のバス（7:56着）で出かけて用事を済ませ、帰りの便（12:35発）を待つのが長すぎる。朝の街中に8時前に降ろされても、買い物もできず開店を待たなければならない。
- ・車を持たない人がバスを使ったとしても、用事が済んだ後の帰り便を待つ時間が長すぎる。
- ・友人たちと今のバスをお試しで利用してみたが、「不便で使えない」を確認しただけであった。
- ・地区の人たちはバスに対してあきらめに近い感情を持っている。
- ・今の状態で日に5便運行するようになっても、利用する人は出てこないと思う。
- ・バスと鉄道（窪川駅にて高知方面行き）が接続していないのも問題だと思う。
- ・バスの運賃が高すぎる。

○ 今後の公共交通整備に対する意見、要望

- ・窪川駅にて高知行き特急との接続を兼ねて、午前10時頃に窪川の街中に着ける便が必要。
- ・高知高陵交通の路線バスが矢井賀から志和まで延伸してくれれば助かる。
- ・バス乗り方教室など、バスに対する無関心層をバスにつなげる取り組みを地道に行うことは有効であると思う。ただし、同時に現状のバス路線そのものも利便性を向上しないといけない。

総括	窪川駅にて高知行き特急列車との接続を強く要望。 公共交通に対してあきらめの意識があるため、バスそのものの利便性向上と並行して、バス乗り方教室などの利用促進の取り組みが必要である。
----	--

志和峰地区（男性：5人、女性：5人）

○ 地区の現状について

- ・ 地区には現在 19 世帯 35 人が居住している。内、独居世帯が 9 世帯、2 人世帯が 4 世帯、3 人世帯が 2 世帯、5 人世帯が 2 世帯となっている。
- ・ 火曜日に藤原鮮魚店、木曜日にサンプラザ、土曜日にとくし丸がそれぞれ移動スーパーが来てくれている。
- ・ 将来の移動手段確保に不安を感じている人は多い。既に独自の移動手段を持たない人は路線バスを頼りに生活をしている。

○ 公共交通の現状について

- ・ 朝の 8 時前に窪川の町に降ろされても行くところがない。
- ・ 地区の奥に暮らす独自の移動手段を持たない高齢者がいる。

○ 今後の公共交通整備に対する意見、要望

- ・ とにかく運行回数が少なすぎるので、増やさないと利用にはつながらない。運行回数を増やして欲しい。
- ・ 窪川中心部にできる文化施設に、高齢者が時間を潰せる（バスを待つ時間など）機能が必要。楽しみながら時間を過ごせるようにして欲しい。
- ・ 路線バスは志和峰の峠までの運行にして、あとは個々の家族が迎えに来るようにしたらいいのではないかな。

総括	今後も引き続き意見交換を行い、志和への移動手段と合わせて検討を進めていく。
-----------	---------------------------------------

窪川中心部（男性：1人 香月ヶ丘在住）

○ 地区の現状について

- ・香月ヶ丘に暮らしている人の高齢化が進んでおり、移動手段確保に困窮し始めている人は意外といえるのではないかと。

○ 公共交通の現状について

- ・まもなく 90 歳を迎えるが、今のところ自家用車を利用できている。そろそろ車の運転をやめて、コミュニティバスを利用しようかと考えている。元気な内にコミュニティバスに慣れておきたい。

○ 今後の公共交通整備に対する意見、要望

- ・買い物（四万十ハマヤ、みやた、みどり市）にコミュニティバスを利用したいと思っている。これまで利用してこなかったこともあり、利用方法が分からない。バス停も認識していない。

総括	車の運転ができなくなって以降のことに不安を感じている人は今後も増えてくることが予想される。それらに対して先手を打つ意味で、バス乗り方教室を地区に入って実施していくことの意味と成果が感じられる。
-----------	--

興津地区（男性：4人、女性：3人）

○ 地区の現状について

- ・くぼかわ病院の通院バスが月曜と木曜にきている。また、石川ヘルスクリニックへの通院バス（町が運行）は月曜、水曜、金曜に運行している。
- ・興津地区の浦分にお店があるが、朝の9時に開店して、11時には品物がなくなる。
- ・興津地区内の移動もたいへんであり、車に乗れなくなると買い物にも行けなくなり、寝て過ごしてそのまま栄養失調になって病院に入ることとなる。このような事例で亡くなった人や入院した人が現れている。
- ・地域の見守り隊は、玄関先から声を掛け、返事がなければ次の家に行ってしまう。
- ・地区内には移動スーパーは来ていない。地区内の店舗を守るため、とくし丸の打診を断ったことがあり、その後はお願いしても来てもらえていない。
→9月から毎週金曜日11時からとくし丸が来てもらえるようになっている。

○ 公共交通の現状について

- ・地区で路線バスを定期的にご利用しているのは女性が3人。
- ・路線バス運賃100円の日が設定されて以降、100円の日にご利用者が増加した。
- ・興津地区内の移動にも困る人が現れてきた。病気になると外出すら無理になる。
- ・買い物で窪川までバスで行っても、駅の近くにスーパーはない。買い物した荷物を持ってバス停まで移動することも困難である。
- ・観光来訪者で路線バスを利用してくる人はまずいない。バス路線を再編するのであれば、住民を最優先で支障はない。

○ 今後の公共交通整備に対する意見、要望

- ・窪川駅での高知方面行き特急列車との接続を実現して欲しい。
- ・10時頃に窪川に行ける路線バスの便を運行して欲しい。
- ・路線バスのコミュニティバス化については、現状でも運賃の安い日に利用が集中していることから、運行曜日が限定されても受け容れられる人は多いと思う。ただし、できれば週に1日ではなく2日くらいは来てもらいたい。
- ・仁井田回りより見付経由の方がニーズがある。仁井田経由では興津から来て降りる人はいないが、乗ってくる人もいない。

総括

曜日を限定して運行するコミュニティバス化の受け容れに前向きであった。今後は意見交換に来られていない人の意見収集や、曜日を限定した運行で支障がでる利用者の存在の把握に努めるとともに、バス乗り方教室の開催などを通じた利用促進にも取り組む必要があると考える。

金上野地区（男性：1人、女性：8人）

○ 地区の現状について

- ・買い物に行く人は朝の9時30分頃から四万十ハマヤやみやたに行く。
- ・地区内の特に高齢者は買い物に出かけるにも苦勞している。
- ・地区内には、木曜日にハッピーライナー（サンプラザの移動スーパー）が来てくれる。
- ・買い物などの用事は午前中に終えたい。ほぼおでかけはタクシー利用となっている。タクシーで四万十ハマヤまで行くと片道850円。くぼかわ病院でも580円必要。

○ 公共交通の現状について

- ・地区内を運行する路線バスを使ったことがある人はいない。また、参加者の内運行の概要（行き先、運行ダイヤ）を知っている人は0人であった。
- ・最寄りのバス停である高樋橋は、国道に横断歩道はあるものの、信号機はなく、特に高齢者の道路横断は非常に危険な状況である。国道を走行する車は横断歩道に人がいても停まってくれず、さらに速度超過している車が大半である。
- ・路線バスに乗って買い物に行っても、窪川駅からさらにお店まで移動しないとけない。

○ 今後の公共交通整備に対する意見、要望

- ・個々の家庭の事情（家族に障がい者がいるなど）があるため、ひとつの取り組みで全ての住民が良くなることはないと思う。
- ・一週間に運行する曜日が限定されるコミュニティバスでも構わないので、地区内に新たな移動手段を検討してもらいたい。
- ・路線バスやコミュニティバスが地区内を運行し始めたとしても、利用することはないだろう。

総括	様々な意見が出された。移動手段の確保に困窮している人が一定いるものの、バスで対応するのが難しかったり、タクシーでの移動に慣れてしまっていたりして、ひとつの取り組みで課題が解決すると考えることができない状況である。 それでも移動手段確保に困っている人がいることは確実なので、今後も調査を継続して課題解決の方策を探る必要がある。
-----------	---

仁井田地区（男性：3人、女性：1人）

○ 地区の現状について

- ・地区に高齢者が増え、近い将来の移動手段確保に不安を抱えている人がいる。

○ 公共交通の現状について

- ・仁井田からは奥呉地線（火曜）と床鍋線（木曜）が使えるので重宝している。
- ・コミュニティバスで一週間分の買い物をするのはたいへん厳しいと思う。ただし、駅からお店までの移動を考えると、路線バスや鉄道を使うよりもコミュニティバスの方が利便性が高い。
- ・病院へ行く人は鉄道を利用し、窪川駅からくぼかわ病院の送迎バスに乗り換えている。

○ 今後の公共交通整備に対する意見、要望

- ・飯ノ川線の運行回数を減らし、その分運行曜日を増やして欲しい。（富岡地区住民）
- ・毎年のようにこのような意見交換の場を設けて欲しい。今後は車の運転をやめる人も増えてくるので、公共交通が重要になってくる。
- ・5年後には移動手段確保に困窮する人が必ず増えてくる。先のことを考えながら事業を進めて欲しい。
- ・富岡地区を運行するコミュニティバスをもう1日増やして欲しい。
- ・コミュニティバスの運行をどうか継続してもらいたい。

総括	公共交通を利用していない人が多く、様々な要望が出された。一方で、公共交通にできることとできないことがあることを説明し、一定の理解は得られた。
-----------	--

影野地区（男性：4人、女性：3人）

○ 地区の現状について

- ・火曜日に影野でサロンが運営されている。
- ・地区の男性の多くは車を利用している。

○ 公共交通の現状について

- ・路線バス影野線は、鉄道に比べると運賃が高く、さらに所要時間もかかるので、敬遠してしまう。一方でJRの列車も本数が減って利用しづらくなってきた。
- ・車を利用している人はコミュニティバスに関心がない。床鍋線は運行日に2往復程度とっていたら5往復も運行していて驚いた。

○ 今後の公共交通整備に対する意見、要望

- ・仁井田のスーパーしまんとに行けるように、近くにバス停を設置もしくは移設してあげて欲しい。
- ・ひかり保育所前にもバス停を設置してあげて欲しい。
- ・フリー乗降禁止区間の徹底をして欲しい。
- ・バスが確実に停止するまでは、車両に近づかないよう利用者に周知して欲しい。

総括	公共交通を利用していない人が多く、様々な要望が出された。一方で、公共交通にできることとできないことがあることを説明し、一定の理解は得られた。
----	--

家地川地区（男性：2人、女性：4人）

○ 地区の現状について

- ・金曜と土曜にくぼかわ病院の送迎バスが区内を運行している。
- ・月曜（13時30分頃）と金曜（14時過ぎ）にとくし丸が地区に入ってきてくれる。
- ・買い物に行かずとも、生協ととくし丸でなんとかこなっている。
- ・今はなんとか車を利用できているが、まもなく乗れなくなるだろう。そうすると自宅のある野地から家地川に来ることも難しくなる。
- ・弘瀬地区では独自の移動手段を持たないのは1人くらいではないか。

○ 公共交通の現状について

- ・（参加者の内、1人がバスを利用）バス利用者は7時のバスで病院に行き、そして買い物（みやた）に行く。月に一回程度。
- ・他に石川ヘルスクリニックやくぼかわ病院などに通院している人がいる。
- ・毎日バスを利用している一般の人はいないのではないか。
- ・路線バスの帰り便になる12:53と16:53の間が長すぎる。
- ・バスで移動した場合、窪川の街中を歩いて移動するのが大変である。
- ・鉄道を利用した場合、窪川駅ホームの跨線橋を渡るのが大変である。JRは極力使いたくない。
- ・バスに乗ったことがないので、利用方法が分からない。こういう人は他にもいると思う。

○ 今後の公共交通整備に対する意見、要望

- ・路線バスについて、7:02と9:47の間に1便窪川方面行きが欲しい。
- ・空きすぎている便（運行便が少ない）をもっと使いやすくして欲しい。
- ・ここに集まった人だけでなく、もっと多くの人に聞いて欲しい。アンケート調査でも構わない。
- ・羽立川方面への移動手段確保をお願いしたい。

総括	曜日を限定するコミュニティバス化の検討も含め、路線バスの再編に対する理解が得られている。ただし今回の意見交換に集まった人だけでなく、地区全体に対する調査を行い、地区全体の意向を集約していく必要がある。また、独自の移動手段を持たない住民の情報を得たので、個別にヒアリングを行う必要がある。
-----------	---